



浅見和史さん 祖父の職業から、自身も神道家として、大学卒業後、2002年に氷川神社に奉職。

悠久の領域、氷川神社

気軽に参加できる行事はありませんか？ 2月の節分と6月の大祓(おはらえ)でしょうか。秋には観月雅楽演奏会があり、神楽・舞楽をご覧いただけます。神主は雅楽が必修で、私は横笛を担当しています。龍笛・高麗笛など長さの違う笛を持ち替えて演奏するので、息の当て方など、笛の吹き方が少しづつ異なるので、笛を変えながら演奏を続けるのは難しいです。以前は中秋の名月に合わせて開催していましたが、年によっては9月開催となるので、暑さに考慮して十三夜の暦を調べたり、月の状態が良い日を選んでたりして、開催日を決めています。

祭事のない日は何をされているのでしょうか。季節によって勤務時間は変わりますが、今の時期(取材時7月)は8時半に出勤してから掃除、御朱印などの窓口業務、ご祈祷、神札授与などを除いて、17時まで退勤します。宿直のときは4時半に起きて5時に開門し、12時まで勤務しています。広報担当としては、3カ月ごとに発行する社報の誌面をつくるための準備をしています。最新号が出来たばかりですが、次の原稿に取りかかっています。

大宮まゆつこ新聞はめでたく20号を迎えました。そんな記念すべき号にお邪魔をしたのは約280社ある氷川神社の総本社、2400年以上の歴史をもち「大宮」という地名の由来にもなった武蔵一宮氷川神社です。今回は権禰宜(ごんねぎ)神職の職称のひとつの浅見和史さんにお話を伺いました。

初めて参拝に来られた方に、周辺の見どころを教えてください。日本一長い氷川参道は2kmの直線が続き、道の両側に植えられている木のおよそ60%は樺の木です。そのため新緑の時期は美しいですね。11月下旬頃から迎える紅葉の季節もお楽しみです。冬は葉が枯れまが雪が降った日の早朝はまだ足跡がつかない、幻想的な景色になり、写真を撮りに来られる方も見かけます。

年間60以上の祭典があるそうですが、大変なことはありませんか？ 毎月の献詠祭(けんえいさい)※和歌を詠み神前に奉る祭り(など)30分程度ですが、大湯祭(だいでうさけ)※氷川神社独自でおこなわれる特別な祭典(だいでうさけ)は11月30日から後斎の12月11日まで泊まり込みで、毎夜祭典に取り組みます。初詣は成人の日を含む三連休など三ヶ日以外も繁忙で、参拝の分散化によって1ヶ月通して賑わっています。



何名の方が働かれていますか？ 神主は県内が一番多く20名います。他にも巫女10名、社仕10名、事務や結婚式場受付など合わせて50名程が働いています。毎月1日の月次祭(つきなみさい)、15日の献詠祭などお祭りにも考慮しながらシフト制で勤務しています。年初には学生アルバイトが150名程来ます。

Instagramにこだわりを感じますが、広報をする上で力を入れていることを教えてください。Instagramはコロナの少し前から始めました。フォトグラファーの工藤裕之(くどうひろゆき)さんや境内で営業している中村写真館さんからお写真を提供していた



武蔵一宮 氷川神社 【住所】さいたま市大宮区高島町1丁目407 【電話】048-641-0137



だいたり、カメラが趣味の神主が境内を撮影したりしています。季節ごとに発行する特別な御朱印、花屋美園苑さんからお納されたお花など、目を引くものを載せています。このコラム「氷川風土記」は民俗学者の山崎敬子(やまざきけいこ)さんにテキストを依頼し、伝統的な文化や歴史について深く知社報は、初めて来た方が手に取っても分かりやすい紙面を目指してつくっています。

最後に、おすすめの本を教えてください。植物生態学者である宮脇昭(みやわきあきら)さんの生涯について書かれた本です。阪神淡路大震災での大きな被害のなかでも、鎮守の森が古くから植えられていた木がある場所では被害が少なかつたことから、宮脇さんは鎮守の森を調べればその土地にあった木が分かるという調査方法を見つけた。開発において伐採される木が増えるとともに、環境破壊も増えていくなかで、その土地にあった木を植樹する事業に携わり、日本全国だけでなく、海外でも多く植樹活動をされています。

今まで氷川神社には気軽にお参りに行っていただけが知らないことも多く、今回なかなか接することのできない神主さんからお話を伺うことができ、目から鱗が落ちる思いでした。

紹介した本 『魂の森を行け!3000万本の木を植えた男』 志治夫/著 新潮社 2006年

「神さまのいる書店まほろばの夏」は、埼玉県在住の三秋せんや(みはぎせんや)が執筆した、架空の都市「さきみたま市」を舞台としたファンタジー作品です。どこか聞き馴染みのある都市名ですが、作中では、大宮駅や氷川神社、大宮公園など「大宮」を代表する名所のほか、駅周辺の百貨店やエキナカの商品施設、地元サッカークラブのオレンジ色の旗がひらめく通りなどが登場し、ヨミが歩いたルートを思わず頭に浮かべながら読んでしまう、大宮を知る人にとってはたまらない作品です。現実には存在する街・大宮と、魂の宿る本が存在するファンタジーが共存する不思議な世界を、ぜひ一度読んで体感してみたいかがでしょうか。

取り扱った本 『神さまのいる書店 まほろばの夏』 三秋せんや/著 KADOKAWA 2015年

大西民子の一首

煽られし楽譜を拾ふ時の間に

ドビュッシーもわれは逃がしてしまふ

『無数の耳』より

民子がドビュッシーの「水のたわむれ戯れ」を弾いていると、ふと風が吹いて楽譜が舞い落ちました。楽譜を拾って弾き直そうとした時は、自分の中で浸り始めたドビュッシーへの感慨まで述べてしまつたような気持ちになつたのでした。

関東圏で生まれ育った私には、大阪弁に対してうすほんやりとした憧れがあります。お笑い番組が好きだったからでしょうか。そんな気持ちに代えてくれる絵本が『ぼくは犬や』です。作者のベク・ヒナさんは韓国の人なので、この絵本の舞台も韓国だと思われま。けれど、自分の思いを語る犬の大阪弁がなんの違和感もなく、いやむしろそれ以外考えられないほどしっかりとばまっています。大阪府出身である長谷川義史(はせがわよしふみ)さんの訳が秀逸だからです。

ベクさんは自らを「人形いたずら作家」と名乗っています。粘土で人や犬を作り、描いた背景と組み合わせるという方法で絵本を作っています。その人形たちの表情がいちいちくせつ(ほめてる)で、むき出しの感情がひしひしと伝わってきます。ベクさんといえば『あめだま』を思い浮かべる人も多いかもしれませんが、これはその前日譚ともいうべき作品です。ぜひ両方とも読んでほしいです。いろいろしみりますから。それにしても犬と子どもの組み合わせってやっぱり最強です。

紹介した本 『ぼくは犬や』 ベク・ヒナ/作 長谷川義史/訳 ブロンズ新社 2020年

歴史部

「燕が低く飛んだら雨」「夕焼けの日は晴れ」昔からの言い伝えにはそれぞれ根拠があるそうですが、みなさんはどんな予報をご存じですか？気象現象が何によってもたらされるのかについての考察はギリシア哲学まで遡ることができます。アリストテレスが世界を「天上界」と「地上界」に分け、それぞれ「天体論」と「気象論」として観察からもたらされた考察を記しています。

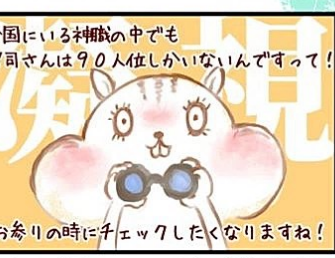
近代的な気象予報に至るには、まず気象観測のための機器の発明と発展が必要でした。気温計や気圧計が発明されたのは17世紀になってから。ヨーロッパで天気図が初めて作成されたのは1820年のことでした。1849年イギリスでは鉄道網を使って各地での観測結果をロンドンに集め、翌日にはそれを新聞で発表されたそうです。

毎日の天気図が国家によって公開され始めたのは1863年、フランスのこと。その後各国が気象事業を本格化します。日本での天気図作成は明治に入ってしばらく経った1883年、初めての天気予報は翌年6月1日でした。1875年に東京気象台が設置され、観測が始まってからちょうど9年後のことです。現在6月1日は「気象記念日」に制定されています。

気象災害が頻発する現代では、気象現象が地表から10kmほどの対流圏で起きていることに驚きます。地上なら歩けるほどの距離で起こる大気の流れが大きな災害をもたらすこともあるのです。今は天気予報だけでなく、頭上の雨雲の様子をスマホでリアルタイムに知ることができます。早めの対策で安全に過ごしたいですね。

参考文献
『アリストテレス全集5 気象論・宇宙論』アリストテレス／著 岩波書店 1969年
『気象学と気象予報の発達史』堤之智／著 丸善出版 2018年
『図解 天気予報入門』古川武彦・大木勇人／著 講談社 2021年
『雨、太陽、風 天候にたいする感性の歴史』アラン・コルバン／編 藤原書店 2022年

取材二ぼれ話



小野リサ『コンプリート・ベスト』

エイベックス・マーケティング 2010年



まっつこ筆が進まない。大宮まゆつこ新聞20号を記念して館長何か書いてくださいと2か月前に執筆を依頼されたけれど気が付けば発行2週間前。私はそもそも書くのが得意ではなく、期限が迫らないと書かない人間である。テーマが「自由」というのも書けない理由がもしも無い。執筆を依頼してきたスタッフに「何かあればいいの？」と聞いたら「なんでもいいです」と言われたので、「じゃあ家の猫のことでも……。」という「猫のエッセイ的なもの」になかなか辛辣なことをおっしゃる。まあそんならうけど、今まさにこの原稿を書いているバツコンのモニタの上に座って書いてるパソコンのキーボードの上に乗ってきてあくびをしたりする猫ってやはり魅力的で、猫を飼っている方、猫動画中毒な方にもあるある。ついでに共感を得られやすそうなのほのぼのエピソードだけれど、そもそも自身のことというよりも猫の持っているポテンシャルによって成立している感否めないという話題だ。では他に好きなことと言えば週に5回は作って食べるパスタについてはどうかと考えたが、館長の立場でこのまゆつこ新聞に初めて登場してパスタのレシピを写真とともにUPするというの頭は浮かべてみたくないか、などと頭を浮かべてみたけれど意外と三ノ矢があるかもしれない…….というりと書いてきたが(スペースを稼い

まゆつこ20号に寄せて

だ)やはり図書館のことを書くべきなのだろうか。そうなのだろうか。私は図書館の持っている魅力は相当なものと思っている。単純に個人では購入しきれない量と質の資料があり、毎週新刊が増え続けていくことを考えれば、本好きにとっても一生読むことに困ることはないし、調べたいことがあればそれに役立つ資料やサポートしてくれる司書が常にいるのは図書館の基本的な魅力だ。でもそれで得られるインプットだけが魅力の大部分という訳ではないと思ってる。プラスアルファとして、大宮図書館が特に利用者提供したいことは、「今日は良い時間の過ごし方をしたな」と感じてもらうことだ。良い時間の過ごし方は人それぞれだが、大宮図書館という場所にいることで、ポジティブなセルフイメージが生まれたり、心地よさが感じられたりするような空間を用意し続けることこそが私のしたいことであり、その結果として多くの方に知的充足感とともに精神的な充実感や属性の方がいろいろある目的でここに集まって生き生きとした活気が生まれる地域地帯の思うところ、大宮図書館も誇りに思ってもらえるならなおさら嬉しい。

大宮図書館館長

世の中に浸透してきた感のある「SDGs」(持続可能な開発目標)。実際に自分達の生活と「SDGs」がどう結びつくのかピンと来ない方もまだまだ多いのではないのでしょうか。

『コーヒーで読み解くSDGs』は、私たちにとって気分転換やリラックスタイムに欠かせない身近な飲み物「コーヒー」を通して、大手コーヒーメーカーの社員だった筆者らが、「SDGs」を丁寧に読み解き分かりやすく解説しています。「コーヒーとSDGsって関係あるの？」と疑問に思う方もいらっしゃるかも知れませんが、本書を読み進めると、実はコーヒー産業が自然環境や格差問題、社会制度などにも多大な影響を与えていることが分かります。

例えば、コーヒー生産国の多くは開発途上国ですが、そのほとんどを消費しているのは日本を含む先進国です。もし私たちが安価なコーヒーばかりを飲むと、生産者は低品質・低価格のコーヒーを大量に生産するようになり、それが国際価格の低迷と生産者の貧困や不平等などを招くことになるのです。コーヒー消費世界第4位である日本。コーヒーの大量消費者である我々は、生産者である開発途上国が今どんな状況にあるかをあまり知りません。しかし本書でその理解を深めることができれば、いつも美味しく飲んでいるコーヒーを通して、私たちが生活のなかでできることを知ることができます。なかなか普段の生活では意識しづらい社会問題も、コーヒーブレイクの度にちょっと思い出して、社会貢献へのアクションを起こすきっかけになるかも知れませんね。

さて、普段使わない脳みそをフル稼働させていたら喉がカラカラになってしまいました。ここらで私は、香り高いコーヒーでも淹れて一休ませて頂きましょう。では、次のお題は「香り」をお願いします。

第7回 テーマ 『格差』



紹介した本
『コーヒーで読み解くSDGs』
Jose・川島良彰／著
池本幸生／著
山下加夏／著
ポプラ社 2021年
紹介者：ちい



休日。家には自分一人。用事は午前中に済ませ、午後からはのんびり過ごす少しのアルコールと好きな食べ物を準備。そんな時、BGMにしたいのがボサノヴァです。

ボサノヴァは、1960年代にブラジルのアーティスト達がジャズなどの影響を受けて新たに作り出したものです。ただ、踊れるような音楽ではないためブラジル国内では賛否両論あり、人気があったのは数年だけでした。しかし、アメリカを始めブラジル以外の国で多くのファンを獲得し、ボサノヴァの名曲「イパネマの娘」が演奏された回数は、ビートルズの「イエスタデイ」に続き世界で2番目に多いそうです。

作曲家のアントニオ・カルロス・ジョビンと作詞を担当したヴィニシウス・デ・モラエスが、リオデジャネイロのイパネマ地区にある行きつけのレストランで食事をしてた時のこと。15歳の少女が店の前を通り過ぎるのを見た二人がその美貌に釘付けとなり、その場で「イパネマの娘」を制作したという逸話があります。しかし、かなり誇張して伝えられているようで、実際に曲を書きあげたのは自宅のピアノの前だとか。

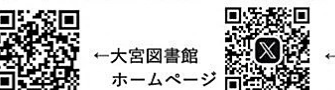
ちなみにこのレストラン、当時とは名前を変えて現在も営業中。いろいろな編成で演奏されるのもボサノヴァの魅力で、私のお薦めは小野リサ『コンプリート・ベスト』。しっとりしながらも明るい歌声。ボサノヴァの名曲からスタンダードナンバーをアレンジしたものもあり、初めてボサノヴァを聞くという人にも、聞きやすいと思います。食事をしながら聞いていると、カフェにいるような気分になります。

参考文献 『音楽でたどるブラジル—この街で「イパネマの娘」に恋をした。—』Willie Whopper／著 彩流社 2014年
『こんな音楽があったんだ！—目からウロコのCDガイド—』みつとみ俊郎／著 清流出版 2004年
『アントニオ・カルロス・ジョビン—ボサノヴァを創った男—』エレナ・ジョビン／著 青土社 1998年

toshostagram



大仏が埋まっているみたいな空間
螺旋
図書館近くの小径からみえる珍百景
アルマジロ?
正体わかる人は教えてください



Xではイベントやスタディーコーナーの待ち人数など大宮図書館の情報を日々ポストしています。ぜひ、フォローしてみてくださいね！
この刊行物の書影画像はBOOKデータASPから引用しています。

